

第42回御船地区交通安全子ども自転車大会

6月21日、町総合体育館で「第42回御船地区交通安全子ども自転車大会」が開催されました。これは、御船地区交通安全協会が毎年行っているもので、交通安全についての教育効果を高め、競技を通して正しい交通知識を身に付け、実際の交通の場で実践させることにより、交通事故防止を目的として行われているものです。

今回は、御船署管内の6つの小学校から7団体、28人が参加し、自転車の安全な乗り方や交通ルール等についての学科テストと、安全確認や正しい合図等の動作を競う実技テストを受けました。

出場者は皆、真剣な表情と正しい動作で、交通標識が設けられたコースや、技能走行のコースをクリアしていきました。



ピンを倒さずバランス良く走るジグザグ走行

空手道全国大会に出場

ありまかな
有馬加菜さん（益城中央小2年・市ノ後）

今年5月、和水町民体育館で開催された第27回熊本県少年少女空手道錬成大会兼全日本選手権大会県予選会において、小学2年生女子組手の部で見事準優勝に輝いた有馬加菜さんが、6月16日、住永町長を表敬訪問しました。

加菜さんは、幼稚園の年長の時に空手を始め、週3回の厳しい練習に耐え、いつも笑顔で頑張っています。蹴り技が得意で、学校での好きな教科は算数だそうです。

また、8月9日から東京武道館で行われる第8回全日本少年少女空手道選手権大会に県代表として出場します。目標を尋ねたら「優勝です！」とはにかみながら



全国大会に出場する有馬加菜さん（右）

ら答えてくれました。

ご健闘をお祈りします。

ウナギの体験放流♪

津森小学校5年生

6月19日、津森小学校（西たよ子校長）の5年生18人が、学校横の木山川でウナギの体験放流をしました。これは緑川漁業協同組合（坂本 猛 組合長）の協力で、毎年、緑川水系にある小学校や保育園、幼稚園等で行われているものです。

この日は、あいにくの小雨にもかかわらず、ウナギの稚魚40Kg、約4,000匹が同漁協で用意され、子どもたち一人ひとりにバケツに入れられ手渡されました。

最初はヌルヌルと指先から逃げ出すウナギに悪戦苦闘の連続で、あちらこちらから悲鳴と歓声が上がっていましたが、慣れてくると上手に一匹一匹を笑顔で放流していました。



笑顔でウナギの稚魚を放流する子どもたち

このウナギは成長するまでに3、4年かかるそうで、大きくなった姿でこの川に戻ってほしいものです。

かわいい花を植えたよ✿

益城中央小学校1年生

6月13日、益城中央小学校（大塚博資校長）で、1年生の児童73人と先生が校内美化活動の一環として、サルビア240株とポーチュラカ250株の花を校庭の花壇に植えました。これは、木山校区民生委員（豊世たけし 世武士幹事ほか10人）の協力で毎年実施されているものです。

児童たちは全員黄色い帽子をかぶり、小さな手にはスコップを持ち、先生や民生委員の方々の指導で、額に汗しながら、1株ずつ丁寧に植え付けていきました。

1時間もすると花壇は美しく生まれ変わり、かわいらしい花々がそよ風に揺らいでいました。

長い夏休みが終わり、新学期になると、大きく育った花々が、子どもたちを優しく出迎えてくれることでしょう。



みんなで力を合わせかわいい花を植えました